

学校外の学び場の選択肢となるために ～フリースクールの運営基盤整備～

NPO法人ターサ・エデュケーション
事務局長 萩原涼平

自分は今頃、知らないで毎日過ごしている。でも、不安だ。違う夢が、たしかに、前までなかった。だから、前まで自分で作る。!!!

高卒認定試験講座 41 プロジェクト

事業責任者/特定非営利活動法人ターサ・エデュケーション 後援/群馬県 群馬県教育委員会 上毛新聞社

<https://tasa-education.jimdo.com> ターサエデュケーション 検索

高校中退者、未進学者を対象とした無料高卒認定試験講座

- ◇ 目的、内容
高校中退者、未進学者に大学進学等につながるチャンスを提供することで、将来の選択肢を拡大することを目的として英数国の必須科目の学習指導を実施



今まで実施してきたプログラム（平成30年度）

群馬県 群馬県教育委員会 上毛新聞社 後援事業

MCF
Mobile Communication Fund
ドコモ市民活動団体助成事業



未来を知るためのお仕事体験 /
タッチワーク



みんなは働くこと、つまり仕事についてどれだけ知っていますか？
お父さんやお母さんの仕事、病院、お店、先生。自分が出会ったことのある大人の仕事は知っているかもしれないね。
でも、それ以外の仕事や社会にたくさんあって、そして今知っていると思っている仕事の中にも、知らないことも、
たくさんあるかもしれない。そんな仕事を知る、ちょっとしほヒントになる機会を今回は準備しました。
自分のやりたいことを見つけてい人や働くことについて知りたい人、そしてちょっと将来が心配な人にオススメです。

対象 / 群馬県内の不登校状態にある10歳以上の小中高生
定員 / 各回5名 費用 / 無料
期間 / 平成31年1月～8月まで（随時実施）

参加費
無料!

各回
5名

フリースクールこらんだむ（NPO法人ターサ・エデュケーション）
お問合せ **027-226-5243** 平日10時～14時
E-mail korandom.school@gmail.com

不登校児を対象とした就業体験プログラムの構築と実施

- ◇ 目的、内容
不登校児が学校に行かなくても社会的自立を果たすために、職業体験をとおして就労感を養い、将来への不安の払拭そして学ぶ意味を将来へ結びつけることを目的とし、就業体験を実施



今年度取り組む3つのこと（当初の目標）

1 ボランティア育成のための研修会の開催 >>

不登校児の中には、障害を持つ児童や心理ケアが必要になる児童が存在しているため、子どもの実情に合った支援ができるボランティアを育成するために発達障害や児童心理を理解するための研修会を開催する。

2 不登校児の情報管理システムの構築 >>>

フリースクールを利用する児童の変化を具体的に検証し、効果的な支援を実施するとともに、保護者や外部への効果的なアウトカムにつなげるために、子どもの情報を効率的に蓄積できるシステムを構築する。

3 寄付金獲得を目指したWEBサイトへの改修 >>>>

持続的な運営や生活困窮者世帯の受入を実現するために、ファンドレイジングに特化したWEBデザインの作成やページメニューの充実を図る。

1 ボランティア育成のための研修会の開催

第1回 “障害児の関わりについて”

フリースクールを利用する軽度の自閉症児を事例として、障害への知識や関わり方について14名のボランティアスタッフが理解を深めました。

(事前ワーク)

- ・自閉症の基礎動画視聴、冰山モデルについての記事読み込み
- ・子どもに対しての関わりで困ったことなどの詳細を記入

(研修会当日)

- 1 アイスブレイクで自閉症当事者の気持ちを体感
- 2 自閉症についての講義
- 3 事前に出した事例をもとにグループワークで支援や特性についてワークシートに記入し、ディスカッション

【得られた成果】 ※アンケート結果抜粋

- ・行動だけで児童を判断するのではなく、本人特性・環境要因まで考慮し、行動の要因を把握したり理由を想像したりすることの必要性も学べた。
- ・子どもの中には、コミュニケーションが苦手な子もいるので、非言語的などところにも気を配っていきたいと思った。



表面上見えている行動

水面下の要因に着目する

本人特性：

環境要因：

支援内容

2 不登校児の情報管理システムの構築

【実施内容】

- クラウド型の業務システム開発支援サービスを活用したベースシステムの構築
- ボランティアが関わった子どもの情報入力するための簡易なフォームの作成
(現在入力件数：210件)
- 入力した情報をエクセルファイルとし出力し、児童の情報を共有する体制を構築



【得られた成果】

- 親や学校に配布している出席報告書の内容に情報共有フォームの内容を活かすことができた。
- 情報がウェブ上ですぐに蓄積、検索可能に。
- 情報共有フォームに関しては、ボランティアスタッフそれぞれの関わりや、情報の共有が可能になり、一人一人の子どもに手厚い支援ができるようになった。

いつもより機嫌のいい様子でした。日常会話やゲームなど	いつもは自分のやりたいこと優先ですが、本日は回りを気遣って遊ぶ姿が見られました。その場に合わせても大切な能力ですので、それを育んでいけるような働きかけが必要だと感じました。最近、子どもたちの方から「あれやろう、これやろう」と誘ってくれるようになりました。2人以上に同時に誘われてしまうと感じていますが、子どもたちへ良い影響を与えてあげられるよう願っています。
いつも通り	あまりにも手慣れたようにベタベタしているのが、思わず冗談半分に「ウザッ」と言ってしまいました。そのあとお母さんに「セドイ」と言われ、謝りながら「子供じゃないんだからベタベタしないの」と笑いながらですが更に余計な事を言っていました。だんだん子供との距離を近く感じることができ、冗談のつもりも言葉が過ぎてしまったら辛いのだと感じました。気を付けようと思いました。
かまわずはしい、トランプ、ルーレット、ブラックジャック	回りの子供達と遊びたいが、遊ばずボランティアと遊ぶことにした様子。友達同士が仲良く遊んでいるのに横断している様子
知らない、公園トレーニング、トランプ、	人に甘えるのが得意。トランプをやっているとき新しいルールを作ったり、ユニークなルールを見せた。
先週は寝ていたようですが、今日はゲームで元はしゃぎしていました。マリオカート	自分はイライラしちゃうのだと言っていました。何かに対してイライラして、そのイライラしている自分にイライラして...という繰り返しなのだとわか。千原ちゃんに対しても、ゲームに強く誘いすぎて、イライラしちゃうのーごめんーと謝っていました。
元気でした。数学 日常会話 リース作り	会話の中で「高校、大学で友達は何人か？」や「人と話す時はどんな話題で話す？」といったような、人間関係について聞かれることが多かったです。数学はしっかりと理解していましたし、積極的に取り組んでいました。カードの質問に答えて、他の人に聞いて貰う。他の人の答えを聞く。誰かから言葉、人を見る顔立ちが優しく自然。現在は、【待てない】ようですが、他の人の話を待てるようになった時には、心強い存在になるそうです。相談したくなりました。
元気でした。ゲーム 入浴剤作り	今日は元気に自由に遊んでいました。入浴剤作りでは、後半は少々飽きていましたが、自分で配合を考案してしっかりと完成させていました。
約一週間ぶりに会い ジョングに参加したり、元気な様子だった。	ジョングと一緒にしていた。本人からの口からあまりジョングは得意ではない。といった事を言っていた。苦手な事もみんなとなら出来そうかな？サポートしてくれたら出来そうかな？と感じてくれて、一緒に参加をしてくれたのでほっとした。苦手な事もあって多少と挑戦してみようかなと思ってくれたその気持ちだったり、上手く出来た時の達成感を感じてもらえるように話していきたい。冬も近づくにつれてきたので、室内での脱水症状など体調には気を付けてほしい。
元気でした。ラジエーション*ゲーム	ラジエーションをやるなかで、とも君の考え方や周りの見方がよく分かりました。聞く考え、自分の意見を伝える話すと上記で書いていました。
お話し	いつも通り、ちさとちゃんにべったりでした。3月は降のこを突っ込まれると、考えたくないからなのか、「あああ」と声を出して「Gyazo」うでした。

3 寄付金獲得を目指したWebサイトへの改修

【実施内容】

- 1 現在のWEBサイトの課題の抽出
- 2 WEBサイトに掲載すべき内容の検討
 - ・ステークホルダーの整理
 - ・寄付者へのインタビュー調査の実施
 - ・寄付を促すための必要な情報の整理

【得られた成果】

- ・活動情報が分かりづらい、まとまっていない。（効果的な文章または画像が必要）
- ・寄付者は何らかの原体験を持ち、活動に共感している。
- ・代表理事の想いやストーリーへの共感が寄付につながっている。



群馬から子どもの可能性をフェアにする。

サポーターになる

銀行振込、クレジットカードでも寄付ができます。月々300円から可能です。

ボランティアする

群馬から子どもの可能性をフェアにする。

サポーターになる

銀行振込、クレジットカードでも寄付ができます。月々300円から可能です。

ボランティアする

不登校支援や学習支援、動画作成から事務や広報など様々な関わり方も可能です。

代表ブログ

TASA EDUCATION NPO法人ターサ・エデュケーション



すべての子どもたちが未来にときめく社会に



NPO法人ターサ・エデュケーションは「すべての子どもたちが未来にときめく社会」を実

る場所です。>>>もっと見る

フレイベン事業



学習をとおして子どもとふれあい、子どもの自立を応援する。

児童養護施設に住む子どもたちへの個別学習支援事業を行なっています。

社会の大人たちと子どもたちが関わりあう機会を提供することで、子どもたちの自己肯定感と学力の向上を目的としています。>>>もっと見る

フリースクールこらんだむ事業



学びの場を選択できる環境を作り、子どもの多様な学びを実現できる機会を提供する。

主に不登校の小中高生が対象のフリースクールです。心と体を回復させる、何もなくても来ていい場所です。

実施しているプログラムはありますが、あくまで任意であり、自分で選択します。

1 ボランティア育成のための研修会の開催 >>

今回の研修会では事前ワークを実施するなど、研修会当日に向けて準備をしたこともあり、有意義な研修会を開催することができた。しかしながら、時間の都合等で参加できないボランティアも20名近くいたため、1回限りの研修会ではなく、定期的を実施することを検討していく。

2 不登校児の情報管理システムの構築 >>>

情報共有するためのベースシステムと子どもの情報入力できる仕組みを構築できたため、子どもの蓄積された情報をクラウド型の業務システム開発支援サービスと連携させ、簡易に確認できる仕組みを早期に構築し、保護者へ子どもの変化を報告書にまとめ送付する準備を進めていく。

3 寄付金獲得を目指したWEBサイトへの改修 >>>>

現在はWEBサイトの見直しや寄付者のインタビューを実施したことにより、改修の方向性を確認した。

今後は改修を依頼するWEBデザイナーと具体的なWEBサイト改修を進めていく。